

--	--	--	--

アスファルトの針入度試験			
--------------	--	--	--

試料番号	<u>回収As</u>	試験年月	<u>2026年1月9日</u>
調査名・目的	<u>配合設計</u>	使用場所	<u>島根合材工場</u>
公称針入度	<u>          </u>	試験者	<u>深山 諄武</u>

試験条件	25℃ 100g 5sec	試料容器番号	1
測定番号	1	2	3
針入度	23	22	22
			平均値
			22

試験条件	25℃ 100g 5sec	試料容器番号	2
測定番号	1	2	3
針入度			
			平均値

試験条件	℃ g sec	試料容器番号	
測定番号	1	2	3
針入度			
			平均値

試験条件	℃ g sec	試料容器番号	
測定番号	1	2	3
針入度			
			平均値

備考

# アスファルトの抽出及びふるい分け試験

工 事 名 配合設計

骨材の種類 再生骨材

試料採取場所 島根 アスコン

試験年月日 2026年 1月 8日

試験者 深山 諄武

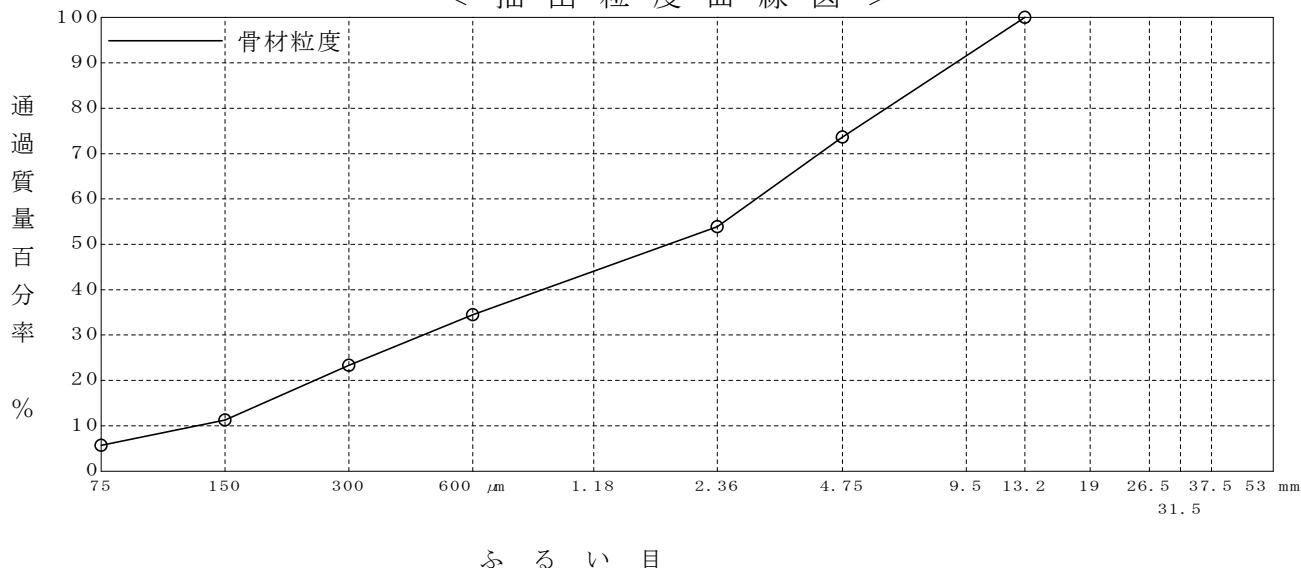
## ＜ 抽 出 試 験 ＞

		1	2	3	備 考	
A	(試料 + はち) 質量 (g)	5369.0	5402.6	5362.0		
B	は ち 質 量 (g)	4355.8	4356.1	4355.5		
C	試 料 質 量 (g)	A-B	1013.2	1046.5	1006.5	
D	(骨材 + はち) 質量 (g)	5321.2	5352.7	5313.1		
E	全抽出骨材質量 (g)	D-B	965.4	996.6	957.6	
F	アスファルト質量 (g)	C-E	47.8	49.9	48.9	
G	アスファルト含有率 (%)	F/C×100	4.72	4.77	4.86	4.78
H	設計アスファルト含有率 (%)		4.78			

## ＜ 骨材ふるい分け試験 ＞

ふるい目	1			2			3			平 均
	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19										
13.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
9.5										
4.75	272.9	28.3	71.7	240.2	24.1	75.9	257.0	26.8	73.2	73.6
2.36	459.0	47.5	52.5	442.1	44.4	55.6	443.6	46.3	53.7	53.9
1.18										
600 μm	635.6	65.8	34.2	638.7	64.1	35.9	637.2	66.5	33.5	34.5
300	749.1	77.6	22.4	751.0	75.4	24.6	737.9	77.1	22.9	23.3
150	861.4	89.2	10.8	875.8	87.9	12.1	851.5	88.9	11.1	11.3
75	914.0	94.7	5.3	935.1	93.8	6.2	903.2	94.3	5.7	5.7

## ＜ 抽出粒度曲線図 ＞



混合物の最大密度試験（真空法）				
試料番号		試験年月日	2026年1月14日	
調査名・目的	配合設計	使用場所	島根合材工場	
混合物の種類	再生骨材	試験者	深山 諄武	
試験時の水温	25 °C	真空度	30mmHg 以下	
表面活性剤		真空ポンプ接続時間	0.15 時間	
フラスコ番号		No. 1	No. 2	No. 3
試料採取場所		プラント	プラント	プラント
試料名		再生骨材	再生骨材	再生骨材
①（フラスコ+試料）重量（g）		2309.3	2324.2	2301.2
② フラスコ重量（g）		683.8	682.6	684.7
③ 試料重量（g）	①-②	1625.5	1641.6	1616.5
④（フラスコ+水）重量（g）		3274.1	3272.0	3274.5
⑤（フラスコ+試料+水）重量（g）		4226.0	4235.4	4221.8
⑥ 最大密度（g/cm <sup>3</sup> ）	③/(③+④-⑤)	2.413	2.421	2.416
※ 平均値		2.417		
フラスコ番号				
試料採取場所				
試料名				
①（フラスコ+試料）重量（g）				
② フラスコ重量（g）				
③ 試料重量（g）	①-②			
④（フラスコ+水）重量（g）				
⑤（フラスコ+試料+水）重量（g）				
⑥ 最大密度（g/cm <sup>3</sup> ）	③/(③+④-⑤)			
※ 平均値				
備考				

--	--	--	--

骨材の微粒分量試験				
試験番号 <u>再生骨材</u>		試験年月日 <u>2026年1月8日</u>		
調査名・目的 <u>品質管理</u>		使用場所 <u>島根合材工場</u>		
試験採取場所 <u>ストックヤード</u>		試験者 <u>深山 諄武</u>		
骨材の最大寸法 <u>13mm</u>		乾燥試験重量 _____ g		
測定番号		1	2	3
①水洗い前の試験重量(g)		2000	2000	2000
②水洗い後の試験重量(g)		1942	1932	1943
③流出した試験重量(g)	①-②	58	68	57
④0.075mm7μの通過重量百分率	③/①×100	2.9	3.4	2.9
平均値 (%)		3.1		
⑤洗い水からの残留物乾燥重量				
⑥検算	⑤/①×100			
平均値 (%)				
備考				

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	251125021	生産地・採取地	岡山県赤磐市滝山
名称等	S-20(5号)	生産者・採取者	丸紅産業(有)
試験年月日	令和7年12月19日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

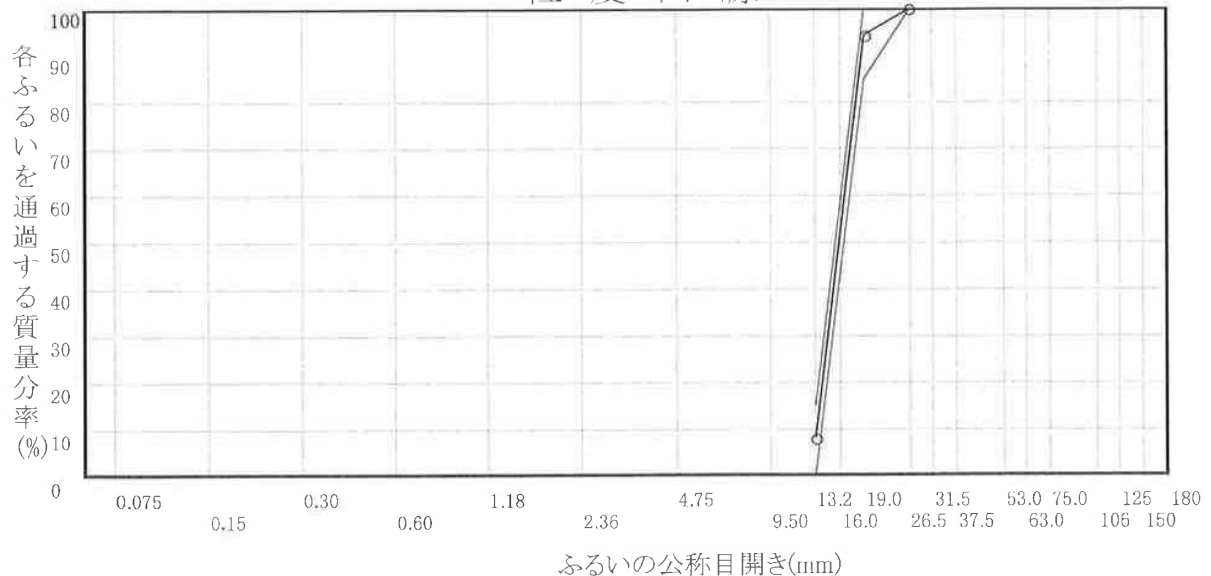
## 試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.668 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.648 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.701 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	0.746 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.59 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	60.0 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 30%以下 (II区分) 9.0 %	
安定性 JISA1122:2014	0.6 %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	1.6 %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	0.01 %	

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
26.5	*	*	100.0
19.0	*	*	94.2
13.2	*	*	8.2
粗粒率	*		
摘要			

## 粒度曲線



## 試験結果

### 道路用骨材

受付番号	251125021	生産地・採取地	岡山県赤磐市滝山
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	丸紅産業(有)
試験年月日	令和7年12月19日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

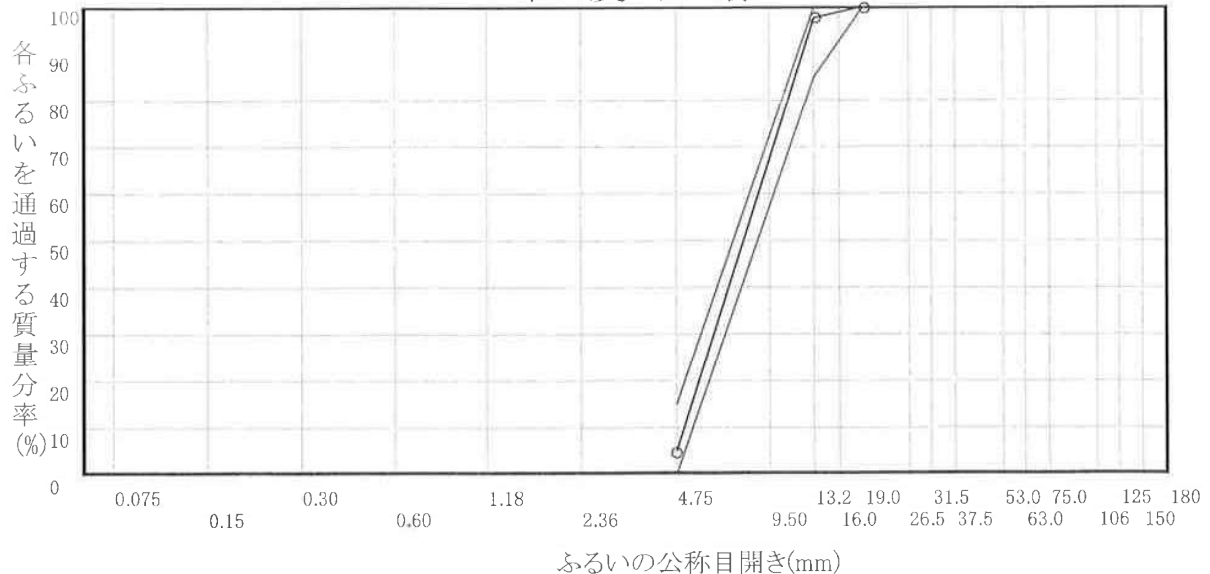
### 試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.672	g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.45 以上	2.652
	見掛密度	2.706	g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	3.0% 以下	0.755
単位容積質量 JISA1104:2006		1.60	kg/L
実積率 JISA1104:2006		60.3	%
微粒分量 JISA1103:2014		*	%
すりへり減量 JISA1121:2022		30% 以下	10.2
		(※)	%
安定性 JISA1122:2014		1.2	%
有機不純物 JISA1105:2015		*	
塩化物 JISA5002:2003		*	%
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		0.0	%
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		*	%
粘土塊量 JISA1137:2014		0.03	%

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	97.7
4.75	*	*	4.9
粗粒率	*		
摘要			

### 粒度曲線



# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	251125021	生産地・採取地	岡山県赤磐市滝山
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	丸紅産業(有)
試験年月日	令和7年12月19日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

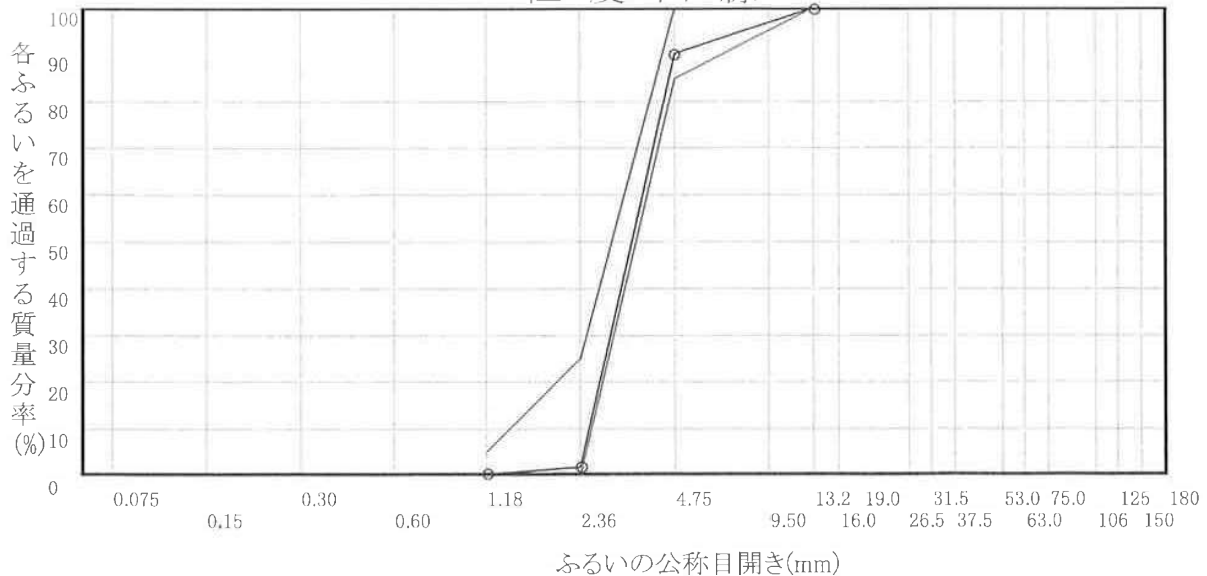
## 試験結果

密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.650 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.622 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.697 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	3.0% 以下 1.061 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.52 kg/L
実積率 JISA1104:2006		58.0 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*) * %
安定性 JISA1122:2014		0.3 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.02 %

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	90.4
2.36	*	*	2.0
1.18	*	*	0.5
粗粒率	*		
摘要			

## 粒度曲線



# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	251125021	生産地・採取地	岡山県赤磐市滝山
名称等	砕砂	生産者・採取者	丸紅産業(有)
試験年月日	令和7年12月22日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

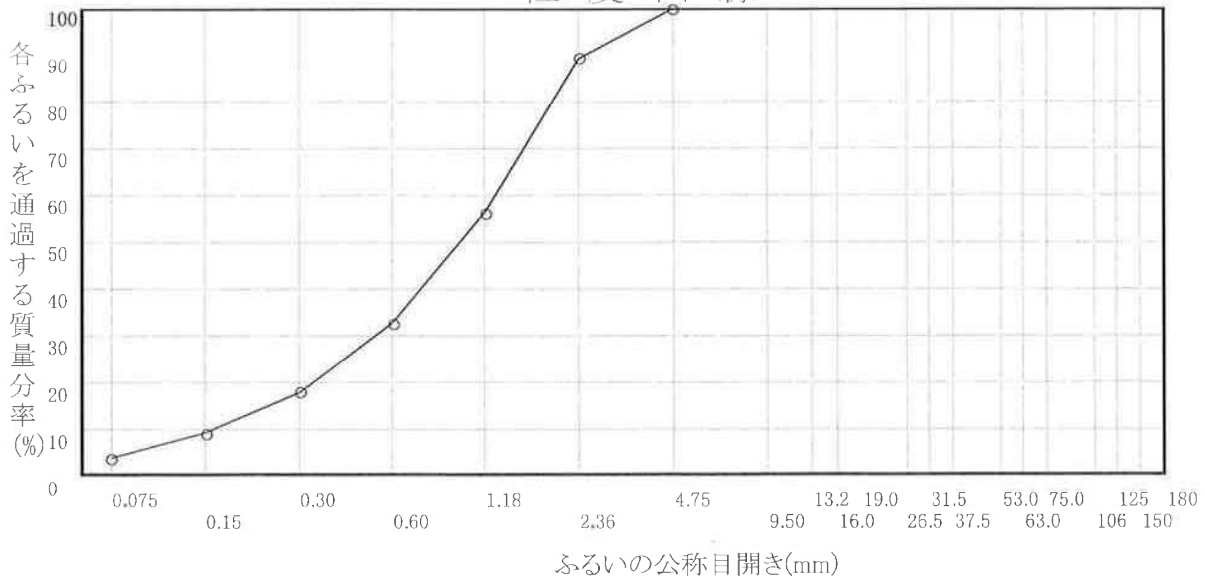
## 試験結果

密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.643 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.603 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.713 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.562 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.77 kg/L
実積率 JISA1104:2006		68.0 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*): * %
安定性 JISA1122:2014		1.0 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.04 %

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	100.0
2.36	*	*	89.4
1.18	*	*	56.4
0.60	*	*	32.8
0.30	*	*	18.1
0.15	*	*	9.2
0.075	*	*	3.9
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

## 粒度曲線





令和8年 1月 5日

御中



昭和瀝青工業株式会社

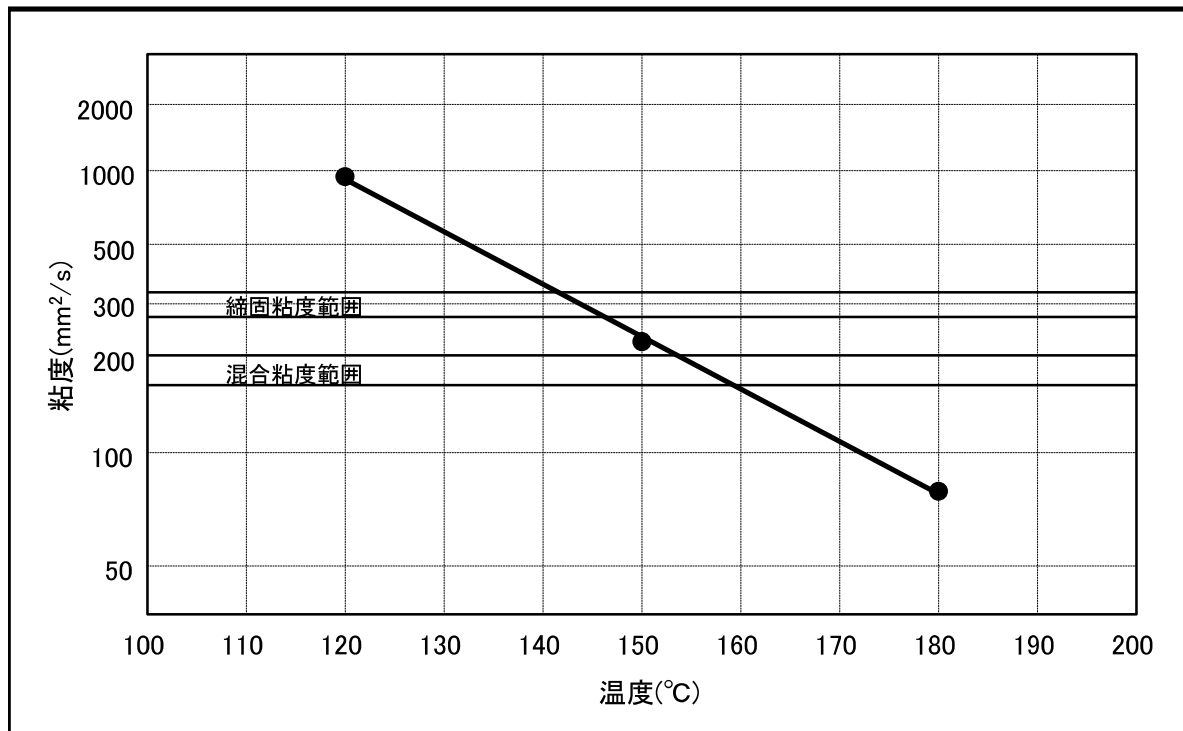


## アスファルト試験成績表

品名: ストレートアスファルト60~80

(令和8年1月代表性状)

試験項目	試験結果	規格値 (J I S)
針入度 (25℃) 1/10mm	71	60を超え80以下
軟化点 °C	46.5	44.0~52.0
伸度 (15℃) cm	100+	100以上
トルエン可溶分 %	99.33	99.0以上
引火点 °C	366	260以上
薄膜加熱質量変化率 %	0.01	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	60.6	55以上
蒸発後の針入度比 %	89	110以下
密度 (15℃) g/cm <sup>3</sup>	1.040	1.000以上
動粘度 mm <sup>2</sup> /s	120℃	944
	150℃	222
	180℃	78
混合温度 °C	154~159	
締固温度 °C	142~146	



※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

## ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和8年1月代表性状)

品名 レジフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 °C	※1	58.0	56.0以上
伸度 (15°C) cm	//	73	30以上
タフネス (25°C) N・m	//	22.8	8.0以上
テナシティ (25°C) N・m	//	17.0	4.0以上
針入度 (25°C) 1/10mm	//	49	40以上
薄膜加熱質量変化率 mass %	//	0.03	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	//	73.5	65以上
引火点 °C	//	360	260以上
密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>	//	1.035	報告
最適混合温度 ※3 °C		165~180	
最適締固め温度※3 °C		155~165	

(備考)

※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕

※2 (社)日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版  
ポリマー改質アスファルト II型※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。  
作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については  
現場施工条件に応じて設定して下さい。

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

2026年1月

出光興産株式会社  
機能舗装材事業部



## 再生添加剤 試験成績表

品名：ダイナブ 舗装材 NP-250

1月代表性状

項目	(※1) 標準的性状	性状	
動粘度 mm <sup>2</sup> /s (60℃)	80～1,000	88.3	
引火点 (COC)℃	250以上	266	
薄膜加熱後の粘度比(60℃)	2以下	1.1	
薄膜加熱質量変化率 mass %	±3以内	-0.78	
密度 g/cm <sup>3</sup> (15℃)	報告	0.910	
組成分析(※2)	アスファルテン分	報告	0.4
	飽和分	報告	70.0
	% 芳香族分	報告	26.3
	レジン分	報告	3.3

※1：「舗装再生便覧(令和6年版)」に記載の再生用添加剤の標準的性状  
※2：石油学会法 J P I - 5 S - 7 7 - 2 0 1 9

上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した当月の代表性状であり  
納入品の実測値ではありません。

令和 8年 1月 5日

# 分 析 報 告 書

共同アスコン 殿

岡山県真庭市宮地2252番地  
中山石灰工業株式会社



品 名 : 100mesh タンカル  
(アスファルト合材用)

上記の試料につきまして行いました分析の結果は、下記のとおりです。

## 成分試験

密度	2.72
水分	0.12 %
SiO <sub>2</sub>	0.28 %
CaO	55.09 %

## 粒度試験

ふるいの呼び寸法	ふるいの通過重量百分率
600 $\mu$ m	100 %
300 $\mu$ m	100 %
150 $\mu$ m	97.1 %
75 $\mu$ m	83.0 %

以下余白

